

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 14日

事業所名 ROSELLE KIDS CLUB

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	3		10名以上入る時は身体が大きい児童が多い事もあり狭く感じる
	2	職員の配置数は適切である	7	2		曜日により送迎の便が少ない時がある
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	3		出入り口の個所が階段となる以外はバリアフリーとなっている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	4	事業所会議で伝える	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	1		第三者評価はどの場所なのか職員に伝える
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	6		公開場所が伝達不足の為何処に公開しているかも職員に伝える
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	3		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	2		研修の機会を今後も積極的に行う
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	1		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	3		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	1		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	4		毎日行うプログラムにも変化をつけながら内容を深めていきたい
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	1		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	1		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	1		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	4		就業時間ギリギリの送迎終了となる時も多い為今後は10分程度は空き様子が伝えあう時間も作る
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9			
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	1			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	3		ガイドラインなども職員の目のつく所に置く	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	2		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	1		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	4		分からない職員も沢山いる為組織作りなど伝えていく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	6		聞き取り等今後も行い情報共有する
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	3		分からない職員も沢山いる為組織作りなど伝えていく。保護者からの相談なども事業所で話し合う
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3		研修などの機会を多く持ちより良い支援へと繋げる
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	4		職員の子どもを職場へ連れていき交流する機会を作っている。インクルーシブ導入
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		6		参加する機会を多く取り入れる
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	2		
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	4		保護者との相談なども全て共有する。その際どのように対処したかも伝え、振り返る
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	2		契約時に伝えているが契約に関わっていない職員にも周知させる
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	3		助言などで難しい時は事業所会議などで話し合いの機会を増やす
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	4		イベント等も含まれる事も職員に伝える
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	2		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	4		月に一度でも支援の様子などを今後伝えていきたい
	35	個人情報に十分注意している	8	1		全職員の危機感を再度周知徹底する
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	1		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5		イベント等を通し行う

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	1		保護者にも災害時の避難場所等を含め周知する
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	1		土曜日みの出勤者もいる為全職員が行えるよう開催を行う
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	1		分からない職員が多い為身体拘束について再度周知徹底し認識度を上げる
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	2		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9			